

# 全国一般神奈川

発行者  
 全国一般労働組合全国協議会神奈川  
 横浜市中区翁町 1-5-14  
 新見翁ビル4F  
 TEL. FAX.  
 045-319-4391

## 23春闘、反戦平和の闘いを共に進めていこう！ 安心して働き、安心して生活できる社会の実現を！

2023年 年頭挨拶

執行委員長 沢口 和善

世界の分断と緊張の拡大、そして日本の軍事予算の増額と敵基地攻撃能力の保有、原発の再稼働という、大きな不安と憤りのなかで2023年を迎えました。私たちは永年「安心して働き、安心して生活できる社会の実現」を掲げて、職場で、地域で活動を続けてきました。残念ながら、残念ながら現状は、その実現とは程遠い状況にあると言っても過言ではありません。

ロシアによるウクライナへの侵攻は長期化し、ウクライナ人だけではなくロシア人も含め多くの人々の命を奪い、生活を破壊しています。この戦争により、世界の分断は拡大し、力による緊張はさらに増えています。東アジアでは、台湾有事を中国の脅威と煽り、北朝鮮のミサイルを脅威と煽りながら、岸田政権は軍事費の増額と、敵基地攻撃能力の保有を閣議決定しました。軍事費の増額、敵基地攻撃能力を持つということは、すなわち相手と想定される国からは「脅威」となり、日本の基地が攻撃対象となることであり、戦争へ一歩も二歩も近づくこととなります。緊張を緩和する外交努力を放棄するに等しい、まさに、太平洋戦争後、戦争を放棄した国から、戦争をする国へと変わろうとしています。

一方で、軍事費の増額を増税で賄おうとする議論が出ています。長引くコロナ感染、そして昨年から続く諸物価の高騰は、私たち生活者、労働者の暮らしに直撃し、私たちの生活は疲弊しています。今年も食料品をはじめ、値上げが予定されており、さらに増税となれば、「国民の命と財産を守る」と岸田政権が軍事費を増額する前に、多くの生活者、労働者の生活が破綻します。

2023年の私たちの取り組みは、こうした状況をしっかりと確認しながら進めていかなければなりません。今の状況で必要なのは、軍事費を増額して軍事大国化するのではなく、原発災害の収束もままならない中で、原発再稼働ではなく、医療や介護、保育といった福祉政策の充実であり、「親ガチャ」ではなく、学ぶ機会の均等です。そして大幅な賃上げと働く環境の改善です。

23春闘は職場の賃上げ、環境改善はもちろん、反戦、反軍拡、脱原発等と結びついた、職場、地域、全国での取り組みを進めていきたいと思います。戦争は真っ先に人権の侵害か

ら始まります。労働者の権利侵害に及びます。諸物価の高騰を跳ね返す大幅な賃上げ、最賃の引き上げ、労働環境の改善とともに反戦、脱原発運動を地域、全国の仲間と取り組みましょう！



### 神奈川県共闘 2023 春闘学習会

全国一般全国協議会の大野副委員長を招き、23 春闘取り組みに向け、私たち労働者を取り巻く情勢、闘いの課題を話していただきます。大勢の仲間の結集により23 春闘の闘いのスタートを切りましょう！

- ★日時:1月20日(金) 18:30～
- ★場所:神奈川労働プラザ(Lプラザ) 4階 第4会議室
- ★講師:全国一般労働組合全国協議会 大野隆 副執行委員長

### スケジュール

- 1月11日 19時 事務所 神奈川合同支部会議
- 1月12日 16時 平労会館 FF1500 実行委員会
- 1月12日 19時 事務所 県共闘幹事会
- 1月14日 16時 厚木ファミー 郵政会議
- 1月15日 10時 立ブ 丈夫屋法対
- 1月15日 10時 事務所 機関紙発送作業
- 1月15日 14時 寿公園 寿労働相談
- 1月16日 19時 事務所 神奈川労働相談センター会議
- 1月19日 12時30分 川崎らぼるの樹会議
- 1月20日 18時30分 Lプラザ 県共闘23 春闘学習会
- 1月22日 14時 事務所 第4 回支部代表者会議
- 1月23日 19時 事務所 第4 回担当者会議
- 1月26日 16時 事務所 横浜交通開発会議
- 1月26日 17時30分 局 郵便港局団体交渉
- 1月26日 17時30分 横浜西口 JAL横浜西口情宣行動
- 1月26日 19時 事務所 県共闘事務局会議
- 1月28(土)29日 全国協各県代表者会議
- 28日 13時～17時30分
- 29日 9時30分～12時

# 第49次寿越冬闘争取り組まれる



が配られた。今年の配食は500食にもなったそうだ。又、野宿者を対象にした夜間のパトロールも取り組まれている。県共闘は、神奈川労連や神奈川交流JAL争議団の仲間の協力を得て労働相談カフェを取り組んだ。「誰もが歳を取る中で一人ひとりの生きざまを認め合いお互い助け合って生きていくことが改めて大切だと思わされた。昔を懐かしみながら、「明日の話ができる社会にしていく」とが望ましい。物価が上がりに給料は上がらず、生活保護費も下げられて暮らしづらくなった世の中だが、だからこそ不満を述べるだけでなく、お互いの命を大切にして、支え合って生きる社会を創っていくことが必要だ。寿越冬闘争は、私達にそのことを再認識させて、23年新たな年の幕を開けた。今年が良い年にして行こう！(米山)

横浜寿町は港横浜の発展を支えた日雇労働者の街である。しかし現在は高齢化が進み生活保護世帯が増えて「福祉の街」になりつつある。

役所が閉まるこの時期「一人の犠牲者も出さない」をスローガンに第49次寿越冬闘争が取り組まれた。12月30日から炊き出しが行われ、31日には年越そば、1日にお赤飯弁当

## 各支部・分会・職場決意表明 ①

### 横浜市労働者組合

新年あけましておめでとございませう。新型コロナによる感染発生から4年、岸田自公政権は昨年未よりいよいよその本質をあらわにしてきました。感染対策は唯一、ワクチン接種のみ、いやそれすら有料化し感染対策を放棄せんとし

いなりに次々と感染対策を放棄して、新型コロナの感染症の分類を引き下げ感染対策など一切放棄し「感染死は自己責任」にしようとしています。まさに貧困・高齢者殺しの何物でもありません。こうした中、岸田政権は、北朝鮮のミサイル発射やロシアによるウクライナ侵攻を受け軍事危機をあり敵基地攻撃など先制攻撃への踏み込みと軍事費の増強を宣

寿医療班からみた越冬闘争  
寿医療班とらばあいの樹友会  
八谷俊彦

①労働者の町から社会資源の実験場に  
80年代、まだ健全な日雇労働市場が稼働し、来談者の平均年齢が40歳前後、越冬もエネルギーシユで大騒ぎでした。90年代には一時大量の外国人労働者の住む町となり、寿公園から日本語が聞けなくなる有様、2000年以降、来談者平均年齢が70歳近くになり、様々な介護保険・障がい者支援事業が立ち上がり、まるで社会資源の実験場のように。福祉・介護サービス受給者が急速に増え、気が付けば、紳士の町

②支援者は今  
若手医師・看護師・学生、を中心に構成され、エリート集団だと軋轢を持ちましたが、時間をかけ溶け込んでいきました。90年代の川崎越冬に、医療班の大半が向かいました。あの若手支援者は今、それぞれの職場や地域で活躍しているようで、医療班は活動家養成所のようなものです。

③越冬での、ある出会い・・・  
20年程前、ある労働者が、象形文字のようなものを書いて「これ、わかりますか」と言われるも、誰も分かりません。肩を落として去っていききました。その後、山窩(サンカ)文字だとわかりました。二度と会えません。どんな人生を経てきたのか、辺縁(マージナル)の放浪者との出会いでした。

## ほくほくの里芋・美味しく食く!



時間半行われその後芋煮会に移した。この日の芋は、加藤農園で組合員が草取りをするなどし、汗を流して育て上げたもので今年はいっぱいの芋煮と三浦の骨付ききりばなど手作り料理が並び、参加者30人は料理を間に交流を行い美味しく芋煮を食べることができ、和やかで和気あいあいの芋煮会でした。

12月25日クリスマスの日、芋煮会が午後3時30分から組合事務所で行われた。前段では2022年最後の支部代表者会議が行われ、会議では、この1か月間の活動報告や参加組合員の職場・近況報告もあった。新組合員の参加で活発な議論と意見交換が和やかに行われた。会議は1

### 自主連帯多摩川病院労組

地球温暖化の危機が指摘されている中、毎年びっくりするほどの出立は、アジアにも拡大し、北朝鮮によるミサイル発射までに至りました。コロナは一向に収まる気配がなく、私達の職場でも感染者が出ています。9条の非武装・専守防衛をなく、防衛費拡大を行って、自主連帯多摩川病院労組は、東アジアの国際平和ではなく、時代となつていきました。ともに頑張り

## -2023 春闘アンケート実施の案内と協力のお願-

私たち全国一般神奈川では、今年も2023春闘要求の参考にすることを目的に2023春闘アンケートを実施します。職場、仕事への日頃の思いや意見を同封のアンケート用紙に記入の上返信をお願いします。  
※調査期間 2023年1月10日~22日まで ※返信先 組合事務所まで  
アンケート用紙に写真(画像)提出先のメールアドレス(QRコード)を掲載します。